

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	文章技法論	太田克彦	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
伝えるための道具として言葉を使う前に、しりとりや回文、川柳といったナンセンスやリズムによる言葉遊びから始める。与えられたキーワードで絵を描いたあとから作文するという方法により、想像力を広げていく。			
【講義概要】			
文章を書くことに対する苦手意識をまず払拭し、言葉を連ねる作業の楽しさを実感する。このトレーニングにより、言葉が美術制作をするときに、色や形や空間を構成するうえでより効果を上げていく役割を果たせるようにする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	セルフポートレート(自画像)を書く		
2	ことば遊び[1]しりとり、アクロスティック(頭文字で遊ぶ)		
3	ことば遊び[2]アナグラム(文字の並べ替え)、回文		
4	ことば遊び[3]川柳をつくる		
5	ことば遊び[4]短歌をつくる		
6	オートマティズム(自動記述)の実験		
7	記憶にあるイメージをスケッチする		
8	マインドマップ(次元を変えたメモのとり方)		
9	映像を文章に起こす		
10	オノマトペを楽しむ		
11	民話のパロディをつくる		
12	物語をつくる		
13	落語・お笑いに学ぶ		
14	詩を書く		
15	書評を書く		
16	自作を語る		
【成績評価方法】			
レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1940年東京都生まれ。法政大学、桑沢デザイン研究所卒業。河出書房、『週刊ポスト』『ニューミュージック・マガジン』誌の編集者、CBSソニー出版(現ソニー・マガジンズ)の編集長を経て、現在フリーのライターおよび編集者。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	日本美術史A(FA科)	北 進一	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>最初に法隆寺金堂釈迦三尊像や玉虫厨子、広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像など飛鳥時代の仏教美術から始まり、奈良時代の興福寺阿修羅像や東大寺法華堂不空罽索観音像、平安時代の神護寺薬師如来像と東寺講堂諸仏、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像、平安仏画、鎌倉時代の運慶仏などの仏教美術を通観する。その後、平安末期の信貴山縁起絵巻や鳥獣戯画、室町時代の雪舟・雪村などの水墨画を取り上げ、古代・中世の日本美術の本質を探ってゆく。</p>			
【講義概要】			
<p>古代から中世までの日本美術は、東アジア文化圏の産物の一端として、そのイメージの源泉のほとんどを朝鮮半島や中国大陸に求めることができる。本講は、仏像・仏画・絵巻物・水墨画などを取り上げ、朝鮮や中国の作例と比較して、それらの造形(イメージ)の本質を具体的に追求してゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解釈という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	日本美術史の時代区分と飛鳥時代の伽藍配置		
2	飛鳥・奈良(白鳳)時代の国宝仏像		
3	飛鳥・奈良時代の国宝絵画		
4	正倉院絵画		
5	密教の成立と平安時代の国宝仏像		
6	平安時代の国宝仏像		
7	平安時代の国宝仏画		
8	平安時代のやまと絵と四大絵巻		
9	平安時代の四大絵巻		
10	平安時代の四大絵巻		
11	鎌倉時代の国宝仏像		
12	鎌倉時代の国宝絵画		
13	水墨画の成立		
14	室町時代の国宝絵画		
15	室町時代の国宝絵画		
【成績評価方法】			
<p>レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』(シンコミュージック・エンターテイメント)『アシュラブック』(美術出版社)、共著に『カラー版東洋美術史』(美術出版社)。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	視覚文明史	太田克彦	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
制作上の技術は必須である。しかしそれはあくまでも必要条件。名作と呼ばれている作品には、すべて優れた発想と想像力がある。したがって作品内容をより高めるための発想力を身につける方法を学ぶ。			
【講義概要】			
古代から現代、そして未来までのパースペクティブを、視覚文化という次元から検討する。その分野は文学や演劇、ダンス、ファッションから音楽にまで広げ、それらが美術とどのように関わっているのかを学習する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	西洋の発想		
2	東洋の発想		
3	死の誘惑		
4	生の魅力		
5	縄文の文化		
6	シンクロニシティ(共感覚)		
7	身体[1]メタモルフォーゼ(変容)		
8	身体[2]手について		
9	身体[3]眼について		
10	戦争とアート		
11	アニメーションの原点		
12	アールヌーボーとアールデコ		
13	ファッションと現代美術		
14	表現の社会性		
15	建築の典型/習作の重要性		
【成績評価方法】			
レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1940年東京都生まれ。法政大学、桑沢デザイン研究所卒業。河出書房、『週刊ポスト』『ニューミュージック・マガジン』誌の編集者、CBSソニー出版(現ソニー・マガジズ)の編集長を経て、現在フリーのライターおよび編集者。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	日本美術史B(FA科)	北進一	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
最初に日本絵画の黄金時代とされる桃山時代の絵画、特に狩野永徳と長谷川等伯の絵画などから始まり、俵屋宗達や尾形光琳の琳派絵画など江戸時代の絵画へ展開してゆく過程を探究する。その後、池大雅や与謝野蕪村などの文人画、円谷応挙などの写実派、伊藤若冲などの奇想派や浮世絵師の絵画を取り上げ、江戸絵画の本質を探ってゆく。			
【講義概要】			
近世以降の日本美術は、中世までの宗教色の濃い美術から脱し、世俗的で鑑賞性の高い美術へ変貌してゆく。本講は、桃山時代の障壁画や江戸絵画などを取り上げ、独自の色彩と形態を追求してゆく有様を見てゆく。日本美術史を従来の様式論でおさえるのではなく、イメージの解釈という新たな視点から日本文化史の中に位置づけて探求してみたい。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	狩野永徳の絵画		
2	狩野永徳の絵画		
3	長谷川等伯の絵画		
4	長谷川等伯の絵画		
5	長谷川等伯の絵画		
6	俵屋宗達の絵画		
7	俵屋宗達の絵画		
8	尾形光琳の絵画		
9	池大雅と与謝蕪村の絵画		
10	円山応挙の絵画		
11	伊藤若冲の絵画		
12	狩野一信の絵画		
13	浮世絵の変遷 その1		
14	浮世絵の変遷 その2		
15	浮世絵の変遷 その3		
【成績評価方法】			
レポート課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』(シンコミュージック・エンターテイメント)『アシュラブック』(美術出版社)、共著に『カラー版東洋美術史』(美術出版社)。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2024年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	サブカル表現研究(VD科)	渭原百藻	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
紹介されないと見る機会がないであろうインディペンデントアニメーションの鑑賞や、言語や効果音の分析など、他の授業では触れられない教養の概要に触れます。			
【講義概要】			
新たな興味関心へのきっかけとなったり、今後の制作において視野を広く持って臨めるよう、ジャンルに問わずさまざまな知識を取り入れてほしいと考えています。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	体癖論によるキャラ分析		
3	シナリオ分析&課題①発表		
4	課題①講評&課題②発表		
5	著作権&ネタのを見つけ方		
6	課題②作品プレゼン		
7	キャッチコピー分析		
8	効果音・音楽分析		
9	AKIRA(前)&個別相談		
10	AKIRA(後)&個別相談		
11	倫理哲学 概要		
12	ハーツフェルト・黒澤明		
13	希望者個別相談		
14	課題②講評		
15	悪と信仰と美しさ		
16	就職と勉学		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1996年生まれ。多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース卒業。2019年(有)バナナグローブスタジオ入社。2020年(株)カラー入社。2025年創形美術学校研究科修了。同年創形美術学校非常勤講師となる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論 I (VD科)	岩崎沙織	1単位 19.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
カラーコーディネートやUC(色のユニバーサルデザイン)など、実践的な色の知識・テクニック修得を目指します。配色ルールや色彩イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。			
【講義概要】			
デザインにおける色の役割、色彩の基礎知識、UC(色のユニバーサルデザイン)、色彩心理、色彩調和の講義・課題制作。色の効果を活用した作品の制作・発表 ※AFT色彩検定3級・UC級対応。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・自己紹介		
2	デザインにおける色の役割		
3	課題制作①		
4	色彩基礎		
5	色彩心理		
6	課題制作②		
7	色彩調和		
8	課題制作③		
9	作品制作①		
10	UC(色のユニバーサルデザイン)		
11	UC(色のユニバーサルデザイン)		
12	作品制作②		
13	作品発表		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。色彩協会コンクールへの参加を図る。			
1983年生まれ。お茶の水女子大学生活科学部卒業。服飾史や民俗学を学ぶ。広告会社勤務後、2014年カラーコンサルタントとして独立。パーソナルカラー診断やカラー講座、ブランディング提案を行う。AFT認定色彩講師。UC級認定講師。著書に『「好き」と「似合う」がかなう色の組み合わせBOOK』(池田書店)			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	社会とクリエイター(VD科)	田中北斗	1単位 19.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
クリエイターになるための考え方(アイデアや企画)や社会との関わり方、クリエイターの職業や活動スタイルなど、講義やゲストを招いたトークセッションを通して学びます。			
【講義概要】			
毎回、講義を中心にプロのクリエイターに必要な知識や考え方を養います。授業時間内の後半では、様々なテーマに合わせ、各自の意見やアイデアを文章やラフスケッチなどの提出。発表など行う場合もあります。ゲストを招いたトークセッションでは、プロのクリエイターになるためのプロセスなどを伺います。質問コーナーも予定。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション 及び 講義		
2	講義		
3	●クリエイタートーク vol.1		
4	講義		
5	講義		
6	●クリエイタートーク vol.2		
7	講義		
8	講義		
9	●クリエイタートーク vol.3		
10	講義		
11	講義		
12	●クリエイタートーク vol.4		
13	講義		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	デザイン術(VD科)	大石恵美子	1単位 28.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
アスリートが筋トレをするように、デザイナーに適したトレーニングをします。基礎的なデザインの「術」を身につけて、創作のスキルアップを目指してください。			
【講義概要】			
多くの事例を紹介し → 表現の技法を学び → 自身の技術にしてもらうため、制作もします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・自己紹介	16	課題制作④
2	テーマ発表	17	課題制作④
3	課題制作①	18	最終チェック
4	課題制作①	19	プレゼン・講評
5	課題制作①		
6	経過チェック		
7	課題制作②		
8	課題制作②		
9	課題制作②		
10	経過チェック		
11	課題制作③		
12	課題制作③		
13	課題制作③		
14	経過チェック		
15	課題制作④		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
アートディレクター。1987年東京藝術大学卒業。1989年同大学院デザイン科修了。株式会社電通入社。ニューヨークA DC、ニューヨークフェスティバル、クリオ賞、カンヌ広告賞、他受賞多数。『新アートディレクター入門』編集、『プロモーションとアートディレクション』執筆。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科／ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	英会話	ティム・ウェイレン	4単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
芸術やデザイン分野で活躍しようと思っている人たちに役立つ表現および単語に焦点を合わせて基本英会話レッスン。			
【講義概要】			
海外の友達と会話するときや、芸術・デザインの世界の現場で英語を使うときでも、スムーズにコミュニケーションができるように、レッスンはフリートーク、リスニング演習、簡単なテキスト(プリント)の三つの部分に分けられています。リラックスした雰囲気の中で自分の英語力を伸ばしましょう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	中間試験		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	後期試験		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
カナダ ブリティッシュコロンビア州生まれ。1979年-1980年東京にて英語教師。1980年-1981年ブリティッシュコロンビア大学で日本語を学ぶ。1983年-1985年東京デザイン学校でグラフィックデザインを学ぶ。1987年-1995年企業にて翻訳、テクニカルライター。現在フリーの翻訳家及び英語教師。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科/ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語I	メロス言語学院	2単位 25.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
テーマに沿って、且つ他者の意見も踏まえて、自分の考えや経験などを適切な日本語でわかりやすく語れることを目指します。			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・一分間スピーチ……あらかじめ提示したテーマに沿って、一分間ずつ話してもらう。 ・Show&Tell……日本文化やデザインに関するテーマについて調べ、ビジュアルとともに発表してもらう。 ・美術語彙の聞き取り……『美の巨人たち』や『日曜美術館』といった美術に関する番組を視聴し、タスクシートを用いながら美術用語等の聞き取りを行う。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	中間試験		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	試験		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デッサン基礎(FA科)	伊藤泰雅 工藤礼二郎	1単位 12時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
デッサンは「描く」ことから成り立つ絵画、版画、イラストレーションすべての表現媒体の根幹をなすものである。この授業では描くための技術力の向上と同時にデッサンに対する考え方を理解する。			
【講義概要】			
デッサンの考え方に対する講義と鉛筆による静物デッサンを2枚制作する。 1枚ごとに講評を行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題制作		
3	課題制作		
4	課題制作		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
伊藤泰雅:1964年静岡県生まれ。1991年東京藝術大学大学院油画技法・材料修了。絵画を制作、個展を中心に発表。2001年関口芸術基金賞展優秀賞。最近の主な活動は、2016年・2018年・2020年個展(ギャラリー檜)、2017年第2回アートオリンピック入賞、2021年「表層の冒険-抽象のパロキシム」展参加など。 工藤礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グリザイユ(FA科)	工藤礼二郎	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
モノクロームの油彩画(グリザイユ)を伝統的な技法に基づいて制作する。 モチーフは人物写真を使用する。			
【講義概要】			
油彩画の成り立ちを知り、写実的表現の基本を理解、習得する。 彩画ひいては絵画の物理的構造や組成を理解することは再現的技術力の向上につながる。とともに今後の自己表現を紐解く礎となる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス		
2	支持体制作		
3	モチーフ決定、撮影開始		
4	モチーフ撮影		
5	トレース		
6	トレース		
7	支持体研磨		
8	支持体研磨		
9	不透明層の描画		
10	不透明層の描画		
11	不透明層の描画		
12	グレース(透層)による描写		
13	グレース(透層)による描写		
14	グレース(透層)による描写		
15	グレース(透層)による描写		
16	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画基礎(FA科)	鈴木吐志哉	2単位 37.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>この授業では様々な版画的技法を体験します。版画で遊びながら「技法の力」を実感し、自分のイメージを展開、成長させることをこの授業の最大目的とします。 そして版画というフィルターを通すことで、自分の作品の別の顔に出会うことを目標とします。</p>			
【講義概要】			
<p>版画の技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロッタージュから始まりモノタイプやシルクスクリーンなど、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川沖浪裏」復刻版の版木をキーワードに、自由な表現による木版画へと展開させてゆきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画のいろいろ～フロッタージュについて		
2	モノタイプ(トランスファー技法)について		
3	モノタイプ(カラー)について～制作		
4	シルクスクリーンについて～原稿制作		
5	シルクスクリーン(刷り)		
6	モノタイプ(スクラッチ技法)について		
7	シリコンリトグラフについて～制作		
8	シリコンリトグラフ制作(刷り)		
9	木版画(正方形の版木を使って)葛飾北斎(復刻版版木の摺り体験)		
10	木版画(正方形の版木を使って)葛飾北斎(復刻版版木の摺り体験)		
11	木版画(正方形の版木を使って)葛飾北斎(復刻版版木の摺り体験)		
12	木版画(正方形の版木を使って)コラージュ 葛飾北斎(復刻版版木の摺り体験)		
13	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。20 02年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。日本版画協会展(準会員佳作)。飛騨 高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき- 、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション基礎(FA科)	須田浩介	2単位 40.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
与えられたテーマに対してイラストを制作する上で個々の持つ個性を活かしながらより魅力的な作品表現となる様にテーマに対しての柔軟な捉え方や作品の見せ方コンセプトを自分の表現や世界観に昇華していく為の授業です。			
【講義概要】			
イラストレーションの基礎課程として、1年次前期にしっかりと基礎力を身に付けます。デッサンや様々な技法に触れ表現する上でのしっかりした骨組みとなる授業と、作品表現するうえで重要なアイディアの柔軟さや閃きユーモアや瞬発力の部分を伸ばし拡張するための課題制作を行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題1制作		
3	課題1制作		
4	課題1制作		
5	課題2制作		
6	課題2制作		
7	課題2制作		
8	課題1、2講評		
9	課題3制作		
10	課題3制作		
11	課題3、4制作		
12	課題4制作		
13	課題4制作		
14	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年~2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	人物デッサン(FA科)	室井公美子 工藤礼二郎	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>人体デッサンでは、人体の構造やプロポーションをしっかりと理解し、正確さと表現力を兼ね備えた描写力を身につけます。骨格や筋肉についての解剖学的知識を学びながら、実際のモデルを描くことで実践的な技法を習得していきます。観察力を磨き、自分ならではのデッサン表現を追求することを目指します。これらの技術は、イラストなど多様な表現活動の基礎にもつながります。</p>			
【講義概要】			
<p>人物デッサンは、観察力、描写力、表現力、人体構造の理解、集中力、自己表現力を総合的に高める課題であり、技術向上に加え、人間的な成長も促します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	講評会		
【成績評価方法】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」1秀作賞、「第20回ホルベインスカラシッパ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展・東京造形大学大学院修士論文・修了制作展」ZOKEI賞、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」1秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。 工藤礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	人物着彩(FA科)	室井公美子 工藤礼二郎	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では、単に人体の再現的描写にとどまらず、それを取り巻く空間との関係性や近代以降の人体表現の在り方を様々な角度から検証する。			
【講義概要】			
人体コスチュームモデルを固定ポーズにより描画する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカラシッブ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展」東京造形大学大学院修士論文・修了制作展「ZOKEI賞」、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。</p> <p>工藤礼二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	銅版画(FA科)	長島 充	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
銅版画の基本的なエッチング技法での制作により版画に親しんでもらう。「自然物」をモチーフに線描と点描によるモノクロームの描写力・表現力を養う。			
【講義概要】			
腐食銅版画の中で最も基本的な技法であるライン・エッチング技法によりモノクロームの銅版画1点(18×24cm)を制作します。ドローイングにも感覚の近い線描と点描を用いて自然物を観察し銅板という物質に表現していきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス+版の準備		
2	下絵トレース・描画+腐食指導		
3	描画制作		
4	描画制作		
5	試し刷り指導		
6	描画・彫版指導		
7	彫版制作		
8	試し刷り～再彫版		
9	彫版制作		
10	試し刷り～再彫版		
11	彫版制作		
12	彫版制作		
13	本刷り指導		
14	本刷り		
15	本刷り		
16	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1959年千葉県生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。1984年～日本版画協会展出品(以後毎年)、R.O.C.国際版画・素描ビエンナーレ版画部門銀賞、カブラム国際版画ビエンナーレ名誉メダル賞、日本版画協会展準会員賞、イビザ国際版画ビエンナーレ最高賞、環太平洋国際版画展2011特別賞受賞。その他国際版画展、美術館企画展多数出品。(社)日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アクリル画(FA科)	勝倉大和	1単位 27時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
アクリル絵の具を使用し、立体的に見える表現法を習得出来る。空間を楽しみながら描ける。			
【講義概要】			
<p>①木パネルにジェツソを塗布する。 ②好きなカタカナを一つ選びゴシック体でレタリングする。 ③レタリングした文字を補助線を使い斜めにレタリングし直す。 ④立方体に合わせ奥行きを線を描く。 ⑤出来た立体文字にワンポイント、好きな物を配置する。 ⑥支持体に転写する。 ⑦アクリル絵の具を使用し、明るい面、中間の面、暗い面、で影を色の濃さで表現する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	描画制作		
3	描画制作		
4	描画制作		
5	描画制作		
6	描画制作		
7	描画制作		
8	描画制作		
9	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1986年生まれ。2008年創形美術学校イラストレーション科卒業。2013年足立区展/教育委員会賞。2021年足立区展/絵画部門賞。2023年リキテックス賞、イラストノート&クリエイターズ賞、日本印刷産業連合会会長賞。2024年足立区展/絵画部門賞。他、コンクールやコンペなど入選、個展、グループ展など多数。東京イラストレーターズ・ソサエティ会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	テーマ制作(FA科)	今野樹里恵	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>テーマに基づくイラストレーション制作を修得します。一つの世界観で一連の作品を制作すること、自分の内面を表現するだけでなく外的要因(文学)に応じて制作をすることで、既存の表現に囚われずに新しい自分だけの表現を目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>文学にまつわる挿絵を連作(サイズに応じて3~5カット)で制作する。装丁や挿絵などで既存イメージができていた文学を、自分だけの表現方法で再構成すること。更に連作で制作することによって世界観を確固たるものとして表現することを学ぶ。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1996年埼玉県川越市生まれ。2018年創形美術学校ファインアート科版画専攻卒業。個展・グループ展・企画展など多数。2018年 ACT ART大賞展 プリント部門2位。2021年第5回アワガミ国際ミニプリント展 入選。2022年MINI PRINT INTERNATIONAL OF CADAQUÉS 2022 入選(スペイン)。2023年IAG AWARD 2023 栗原画廊賞。銅版画家、作家。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	シルクスクリーン基礎(FA科)	東樋口徹	1単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わされて改良されたものです。枠に張った紗の目を不必要な部分は塞ぎ、画の孔(穴)の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品(A4/21cm×29.7cm)を一点(紙8枚程度)制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	技法説明(製版)		
3	描画制作		
4	技法説明(刷り)		
5	版指導・印刷実演・版制作		
6	版制作		
7	版制作・改版指導		
8	試し刷り・本刷り指導		
9	本刷り		
10	本刷り		
11	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞(三極)、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。(社)日本版画協会会員。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ドローイングブック(FA科)	室井公美子	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>絵画のモダンテクニックを学び表現の幅を広げて行きます。また、モダンテクニックには偶然性が伴うもので、その偶然性を活かしつつ、意図した表現に近づけるための試行錯誤を通じて、柔軟な表現力を養います</p>			
【講義概要】			
<p>モダンテクニックである、スパッタリング、ハッチング、デカルコマニー、スタンピング、フロッタージュ、コラージュ、ドリッピング、スクラッチなど、さまざまな技法を学びます。出来上がったドローイングを組み合わせ、加筆など行いながら、オリジナルのドローイングブックを作成して行きます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>室井公美子:1975年栃木県生まれ。2007年東京造形大学卒業。2009年東京造形大学大学院修了。2005年「群馬青年ビエンナーレ05」秀作賞、「第20回ホルベインスカランップ」奨学生、2006年「VOCA展」出品、2009年「2008年度ZOKEI展・東京造形大学大学院修士論文・修了制作展」ZOKEI賞、2012年「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」秀作賞、2016年「第52回神奈川県美術展」特選(準大賞)、2017年「第53回神奈川県美術展」特選(準大賞)。GALLERY MoMo所属作家。同ギャラリーにて定期的に個展。その他、グループ展多数。2014年Prosper財団「Circle of Peace」ジョージア(旧グルジア)アーティスト・イン・レジデンス。武蔵野美術大学通信教育課程、日本大学芸術学部非常勤講師。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	カットイラスト(FA科)	石山さやか	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
誌面に載ることを想定し、文章に合ったイラストを作成します。 読者がイメージを広げられるようなイラスト、文章に合ったイラストとはどのようなものか考え、自分の作風を伸ばすことを目標とします。			
【講義概要】			
実際の小説を用意し、内容に合わせて挿絵を制作します。描いた絵は誌面にレイアウトします。何を描き、何を描かないのか、どのような画材を使うか、自分で考えることを大事にしながら制作します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／講師自己紹介		
2	小説選択/挿絵箇所想定		
3	挿絵制作		
4	挿絵制作		
5	挿絵制作		
6	誌面レイアウト		
7	誌面レイアウト修正		
8	講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンディア』(祥伝社)発売。</u>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技 選択必修	フレスコ画(FA科)	杉崎匡史	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>油彩画以前の一つの古典技法であるフレスコ画技法は、消石灰と砂を混ぜたもので漆喰壁を作り、その壁が乾き切らぬうちに顔料を水のみで溶いて描ききるもので、空気中の二酸化炭素と反応した石灰成分が顔料を閉じこめ、半永久的に壁画は色褪せることがない。壁や石灰といった素材の強さにおいては代え難いものがあり、光沢の無い自然な質感や、制約の中で必要とされる高い集中力、五感だけでなく身体を目一杯使って体感することなど、その中に潜む一つの可能性を探求する。</p>			
【講義概要】			
<p>古典技法としてのフレスコ画技法を模写を通して試みる。物質が変化していく、その体験を目の当たりにしながら、実直に絵と向き合う時間に身をゆだね、その中で自身の展開に繋がられるのか考えてみる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス・フレスコ剥がし・原画選択・拡大コピー		
2	モルタル作り・地塗り・壁荒らし・拡大コピー続き		
3	モルタル再練り・カルトーネ制作・顔料練り		
4	カルトーネ制作・顔料練り		
5	モルタル再練り・中塗り・シノピア・壁荒らし		
6	モルタル再練り・上塗り①・描画①		
7	ジョルナータ線削り・上塗り②・描画②		
8	モルタル再練り・上塗り③・描画③		
9	ジョルナータ線削り・上塗り④・描画④		
10	モルタル再練り・上塗り⑤・描画⑤		
11	ジョルナータ線削り		
12	上塗り⑥・描画⑥		
13	ジョルナータ線削り		
14	モルタル再練り		
15	上塗り⑦・描画⑦・完成		
16	片付け 講習会		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1967年東京都生まれ。1993年東京藝術大学大学院美術研究科壁画専攻修了。1993年より個展を中心にフレスコ技法を使った立体・レリーフ作品を発表。近年はより作品を平面化し、フレスコ技法を用いた痕跡と色彩のみで構成される作品を発表している。2001年トーキョーワンダーウォール賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	木版画基礎(FA科)	鈴木吐志哉	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
○油性木版画の基本技術の習得			
【講義概要】			
○油性木版画1版単色。モノクロームの大型版木に取り組み制作することで、木版画油性摺り技法の基本と魅力を体験します。版木サイズ 600×450mm			
回	授業計画及び学習の内容		
1	スライドにて作家紹介/彫りの解説		
2	版木にドローイング～彫版開始		
3	彫版		
4	彫版		
5	木版画の摺りデモンストレーション		
6	彫版(試し摺り)		
7	彫版(試し摺り)木版画技法紹介 1		
8	彫版(試し摺り)		
9	試し摺り(彫版)木版画技法紹介 2		
10	試し摺り(彫版)		
11	本摺り開始/作品の仕上げについて		
12	本摺り		
13	本摺り		
14	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館)。日本版画協会展(準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)。SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。 版画学会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	実践イラストレーション (F A科)	須田浩介 関根 秀星	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>自分の好きな音楽を視覚的に表現するための発想力と構成力を身につける。 イラストにおける構図・配色・スタイルの工夫を通じて、情報伝達力と視覚的魅力を高める。 プレゼンテーションや講評を通して、他者の視点を取り入れながら自分の表現を客観的に捉え、改善につなげる力を育てる。</p>			
【講義概要】			
<p>本授業では雑誌の表紙イラストを制作することを通してテーマ性のあるビジュアル表現の基礎を学びます。今回は「自分の好きな音楽」を出発点に、実在の音楽雑誌の表紙を想定したイラスト制作に取り組みます。楽曲やアーティストの世界観、ジャンルの特徴などを視覚的に翻訳し、ラフ制作から描く内容のチェックを経て本制作に入ります。制作プロセスでは、ビジュアルコミュニケーションの理解を深めるとともに、自分の感性を他者に伝える力を養います。完成作品は簡単なプレゼンテーションを行い講評を通じて視点の多様性にも触れます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/テーマ発表		
2	制作		
3	制作チェック		
4	制作		
5	コンセプト発表/ラフ案提出		
6	制作		
7	制作		
8	プレゼンチェック		
9	ブラッシュアップ		
10	作品発表/講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>須田浩介: イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年~2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。 関根秀星: 2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	テンペラ画(FA科)	熊谷宗一	2単位 55.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>中世美術からルネッサンス期を経て現代にまで受け継がれてきた卵テンペラ技法を学ぶ。卵で作る絵具の造形の自由さ、楽しさを学ぶ。ここでは技法と描写の関係を理解し、絵画表現の幅広い可能性を追求する。絵画模写をしながらテンペラ技術の基礎と応用を修得する。</p>			
【講義概要】			
<p>木材板の基材に地塗りをしてパネルを作る。卵テンペラ(水性画材)をつくり、描画材として絵画模写をする。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、模写作品選び	18	卵テンペラによる描写
2	下地作り	19	講評口
3	下絵(転写)		
4	下絵(転写)		
5	ボーロ塗り		
6	金箔貼り		
7	ボーロ塗り		
8	金箔貼り		
9	金箔貼り		
10	卵テンペラによる描写		
11	卵テンペラによる描写		
12	卵テンペラによる描写		
13	中間チェック		
14	卵テンペラによる描写		
15	卵テンペラによる描写		
16	中間チェック		
17	卵テンペラによる描写		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1962年神奈川県生まれ。1986年東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業「O氏記念賞」受賞。1988年同大学大学院修士課程修了。1990年ウィーン応用美術大学入学(オーストリア政府給費留学生)。1997年同大学卒業 芸術修士習得。ウィーンやプラチスラバなど国内外で個展、グループ展など多数。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	リトグラフ(FA科)	中村真理	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。			
【講義概要】			
リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、下絵制作		
2	描画の進め方、見当の説明、製版のデモ		
3	刷りのデモ、版の準備		
4	描画		
5	紙の準備(いづみ)		
6	描画		
7	白黒1版の製版(全員)		
8	描画		
9	白黒1版刷り(全員)、片付け、鑑賞		
10	ベタ版のデモ、描画		
11	製版、刷り		
12	製版、刷り		
13	製版、刷り		
14	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞(社)日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	Fファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グッズ制作(FA科)	花島百合	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
身近なグッズを観察して、自分の作品の世界観や魅力をグッズという形で発信する方法を学びます。			
【講義概要】			
世の中にあるグッズを観察し、自分の表現を活かしたグッズの形を考案します。 絵の完成度を高めながら、商品としての見せ方や届け方を意識して作品を制作する授業です。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／課題①説明		
2	制作		
3	制作チェック		
4	制作		
5	課題①講評／課題②説明		
6	制作		
7	制作チェック		
8	課題②講評／課題③説明		
9	制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	最終講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 創形美術学校卒業後よりイラストレーターとして活動。ザ・チョイス入選。CWCチャンス展セミファイナリスト入選。広告、商品、出版物、キャラクターイラスト、アニメーション等のイラストレーション制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画基礎演習(FA科)	工藤礼二郎	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>各自の取材に基づいた写真を使用もしくは現場での制作。「見る」「描く」行為を通して「風景」とは何かを思索する。</p>			
【講義概要】			
<p>「風景」をテーマにした絵画制作。写真使用可、但し各自の取材に基づいたオリジナルであること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	「美術史マラソン」美術の全貌を知る	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作	21	制作
5	制作	22	講評会
6	制作		
7	制作		
8	「スタイルの変化と技法の歴史」		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	「実践」描写か？表現か？徹底描写と構成		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	コラグラフ／カーボランダム(FA科)	馬場知子	2単位 57時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>自らの表現に必要な素材や技法を選び、それに基づく制作プロセスを考え実践する。版画ならではの制約や偶然性(自分の意図しない結果)を受容し作品を作り上げる柔軟性と創造力で自分の表現の幅を広げる。</p>			
【講義概要】			
<p>コラグラフもカーボランダムも物質感のある画面を作ることができる版画技法です。複雑な手順や技術を必要としませんが、各自の工夫で多様な表現が可能です。 版表現の特性、素材と表現の関係を考え、実験的な制作をします。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	説明 小作品(テストプレート)制作	18	本制作 (本刷り)
2	説明 小作品制作	19	講評会
3	小作品制作 本作品準備説明		
4	小作品制作 本制作準備		
5	本制作準備(エスキースを仕上げる)		
6	エスキースチェック、本制作スタート		
7	本制作		
8	本制作		
9	本制作(試し刷り)		
10	本制作		
11	本制作 (加筆、刷り)		
12	本制作		
13	本制作 (加筆、刷り)		
14	本制作(試し刷り)		
15	本制作(試し刷り)		
16	本制作 (本刷り)		
17	本制作 (本刷り)		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展(畦地梅太郎賞)、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ(優秀賞)、(社)日本版画協会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	線画イラストレーション(FA科)	関根 秀星	1単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>イラストレーションの基礎として「線」に焦点を当て、様々なモチーフを通して多くの線画を描きます。鉛筆やペンなどの基本的な画材を使い、線の強弱、質感表現、リズムなどを学びながら、表現の幅を広げていきます。</p>			
【講義概要】			
<p>身近なものから人物まで、幅広いモチーフを線のみで描きます。 画材によるアプローチの違いを意識して使い分け、狙いを持って取り組みます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/テーマ発表		
2	制作		
3	制作チェック		
4	制作		
5	コンセプト発表/ラフ案提出		
6	制作		
7	制作		
8	制作チェック		
9	制作		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	プレゼンチェック		
16	ブラッシュアップ		
17	作品発表/講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	リソグラフ(FA科)	Noy	1単位 27時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
リソグラフ印刷機の使用方法の習得。また、リソグラフ印刷を使用した作品制作を通じて、自身の作品の新たな一面を模索、発見していく。			
【講義概要】			
近年、イラストレーターやデザイナーが作品制作に使用し、話題になっている印刷技法「リソグラフ」について学ぶ授業です。自身でリソグラフ印刷を制作できるようになるために、入稿データの制作から印刷まで全ての工程を実践していきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	リソグラフ印刷機説明		
3	作品制作		
4	原稿をリソグラフでスキャンして製版		
5	製版調整		
6	試し刷り		
7	本刷り		
8	本刷り		
9	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
大阪府生まれ、東京都在住のイラストレーター。 「異文化との対峙」をテーマにデジタルイラストやフィギュアを制作する。クライアントワークでは書籍の挿し絵やグッズデザインを手がける。2023年より、原宿のリソグラフスタジオ、「STUDIO LE MONDE」にてリソグラフ印刷のオペレーターを務めている。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	キャラクターデザイン基礎A(VD科)	飯田友和	2単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
テーマに沿った設定、デザイン、バランスでキャラクターを制作するスキルの習得			
【講義概要】			
ゲームやアニメをはじめ様々なコンテンツの商業メディアにおけるキャラクターイラストの制作を主旨とする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション & 第1課題 説明		
2	第1課題 制作		
3	第1課題 制作		
4	第1課題 講評		
5	第2課題 説明 & 実習		
6	第2課題 制作		
7	第2課題 制作		
8	第2課題 講評		
9	第3課題 説明 & 実習		
10	第3課題 制作		
11	第3課題 制作		
12	第3課題 制作		
13	第3課題 講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 埼玉県在住。東京デザイナー学院ビジュアルデザイン科卒。アニメ・ゲーム制作会社の作画を経て、現在フリーランスイラストレーターとして活動中。企業や広告、各種コンテンツのイメージキャラクターやマスコットキャラクターデザイン、様々な用途のイラスト、グラフィックデザイン制作の他、Web広告バナーの制作実績は数百点。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グラフィックデザイン基礎A(VD科)	高林直俊	2単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>基礎を身に付けることで、2年～3年の専門課程がよりスムーズに取り組むことができます。カタチの形成・構図・レイアウトなどに関わる重要な基礎の力です。デザインの基礎的な事や考え方を学ぶことを目標とします。</p>			
【講義概要】			
<p>グラフィックデザインの基礎となるベース部分を身に付けます。また今後の自分のスタンスや方向性(進路)を見出す為に、モノ創りに対して意識を持って制作に取り組めます。アイデアの出し方、企画の考え方、実際にこだわりながら学んでいきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション & ウォーミングアップ 01		
2	ウォーミングアップ 02		
3	ウォーミングアップ 03		
4	第1課題 制作スタート		
5	第1課題 制作		
6	第1課題 講評		
7	第2課題 制作スタート		
8	第2課題 制作		
9	第2課題 講評		
10	課外授業		
11	第3課題 制作スタート		
12	第3課題 制作		
13	第3課題 講評		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。アプリケーションソフトの基礎的な使い方を学ぶ。</p> <p>1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛る。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	コミック基礎A(VD科)	石山さやか	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
「漫画を描く」と聞くと難しそうですが、実際はチャレンジしやすく、楽しいものです。この授業では手を動かしながら描くことへの恐怖心をなくし、自分の絵を見つけていくことを第一の目標とします。後半では簡単なシナリオをもとに小さな漫画を作ってみます。			
【講義概要】			
『漫画』を描くための基礎練習、筋トレの授業です。基本的な人物の描き方、パースの引き方と演出方法について。現代の漫画作品の発信方法やデビューまでの道筋、また制作の工程についても学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・プレスト		
2	制作指導		
3	進捗チェック(ネーム)		
4	制作指導		
5	進捗チェック(ネーム直し・下書き)		
6	制作指導		
7	進捗チェック(作画)		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンディア』(祥伝社)発売。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真基礎演習(VD科)	藤本 陽	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
一枚一言の制作趣旨で、伝えると伝わるの差異を減らす、または生じる事を理解していく。回数を重視して都度の課題で捉え方を変えていき、考え過ぎずに納期に向かって行動を起こす事を促す。			
【講義概要】			
課題を通して観察を行い、その写真を撮ります。その撮影した内容が制作意図の伝達ができているかを確認していく。撮影はチームを組み、課題に対して時間と内容を個人だけではなく、チームで管理と進行する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明と課題について		
2	撮影(街歩き)とデータ保存		
3	画像編集とLrcの説明		
4	撮影(明日館か目白庭園)とデータ保存		
5	撮影		
6	画像編集とプリント		
7	発表会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1983年東京生まれ。2004年有限会社ティーツー(入社)。スタジオでの百貨店とアパレルの服飾・宝飾・食品とモデルの写真撮影が主で、雑誌等の出張撮影も行う。2012年AFART設立(独立)。2017年千葉デザイナー学院(非常勤講師)。2024年有限会社ティーツー(代表取締役)。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	MAC講座(VD科)	村田秀徳	2単位 40.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>まずはPCに慣れ、何が出来るのかを知ることからはじめます。 印刷物(紙媒体)をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>前期では基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	Macに触れてみよう/Macの操作・設定など		
3	Illustratorの概念、基礎、CMYK		
4	Photoshopの概念、基礎、RGB		
5	Illustrator基礎/基礎操作、レイヤー、図形、文字、ペン		
6	Illustrator_応用/グラデーション、効果など		
7	Photoshop基礎/基礎操作、レイヤー、ブラシ、色調補正など		
8	Photoshop_応用/マスク、選択範囲など		
9	Illustrator_課題		
10	Photoshop_課題		
11	総合課題_出題		
12	総合課題_制作		
13	総合課題_制作		
14	総合課題_提出		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。アプリケーションソフトの基礎的な使い方を学ぶ。</p>			
<p>1993年生まれ。2016年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業 現在は株式会社ココティエにてアシスタントデザイナーとして活躍中。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション基礎(VD科)	片山なのあ	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>イラストレーションの基礎課程として、1年次前期にしっかりと基礎力を身に付けることで、2年、3年の授業でも「なぜこれをするのか」を理解しながら制作に取り組むことができます。色彩、構成、ストーリー展開などの基礎を課題を通じて学び、苦手な部分を克服し、自信を持って作品を制作できるようになることで、次世代のプロとして活躍する力を身につけます。</p>			
【講義概要】			
<p>イラストレーション基礎(VD)は、柔軟な発想を基に、物事や感情、ストーリーをイラストレーションで表現する授業です。3つの課題を通じて、固定概念に囚われることなく「自分の枠」を越え、個性が重視されるイラストレーションの世界に一步近づくことを目指します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・ミニワークショップ		
2	課題1発表・制作(自分の色)		
3	課題2発表・制作(大きな絵)		
4	制作		
5	課題3発表・制作(キャラ、ストーリー)		
6	制作		
7	制作		
8	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>武蔵野美術大学造形学科建築学科卒業。広告代理店、雑貨メーカー等でデザイナーを経てフリーランスのイラストレーターに。CM、MVなどの映像や、書籍、絵本、パッケージまで幅広い媒体にイラストレーションを提供。子供向けワークショップも多数開催。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デッサン(VD科)	関根秀星	3単位 66時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>イラストレーションやデザインや絵画や立体等々、クリエイターの表現方法は多岐にわたるが、全ての表現に共通する大前提の過程として、表現する対象を深く、多角的に理解する”インプット”の質が求められる。デッサンやクロッキーを通して、モノの本質的、外見的な観察力を養い、表現者としての基礎体力をつける。</p>			
【講義概要】			
<p>デッサンの基礎から応用。課題毎にデモストや講評を行い、より深い理解へと繋げる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／グレースケール	18	構成デッサン
2	静物デッサン基礎	19	静物デッサン応用
3	静物デッサン基礎	20	静物デッサン応用
4	静物デッサン基礎	21	静物デッサン応用
5	静物デッサン基礎	22	静物デッサン応用/講評会
6	静物デッサン基礎		
7	人体デッサン・手		
8	人体デッサン・手		
9	想定デッサン		
10	想定デッサン		
11	静物デッサン応用		
12	静物デッサン応用		
13	静物デッサン応用		
14	静物デッサン応用		
15	構成デッサン		
16	構成デッサン		
17	構成デッサン		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。 千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	コミック基礎A	やすこーん	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
実践力を伴うコミック表現とは。紙、デジタルほか、自分に合う表現方法を見つけます。			
【講義概要】			
社会に出てすぐ通じるような自己表現方法を身に付けるべく教員が経験してきた仕事等を紹介しつつ、コミックの手法で実技制作、講評を行なう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、原作選択、作品紹介		
2	制作		
3	キャラ設定・ネーム制作		
4	制作		
5	ネーム制作・下絵		
6	制作		
7	ペン入れ・原稿仕上げ		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
漫画家、文筆家。1991年小学館でデビュー。最近は鉄道旅の紀行文や漫画、エッセイなどでも活躍中。代表作は『GOGOよたまごっち!』シリーズ、『おんな鉄道ひとり旅』(小学館)、『メシ鉄!!!』(集英社)など。他、東洋経済オンライン『鉄道漫遊記』など連載多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アニメーション基礎(VD科)	飯田 萌	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
手描き、コマ撮り(実写も可)など、自由な表現でアニメーションを制作。編集作業はPremireを使用する。			
【講義概要】			
映像研究と制作(自由な発想で)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス+制作		
2	制作		
3	制作		
4	作画と作品鑑賞		
5	作画と作品鑑賞		
6	制作		
7	制作		
8	上映会(講評)		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
2010年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。2012年同大学院修了。フジテレビ『ベピスマ』、NHK『デジスタ・ティーンズ』にて作品紹介。アニメーション作品『臓器大学』が学生CGコンテスト銀賞、TSSショートムービーフェスティバル佳作受賞など。2015年タンバリンギャラリーにて個展。その他、MONSTER展(ヒカリエ)、MONSTER展inNY、bustercall ワンピース展など多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	社会連携活動授業:首都圏物流組合(VD科)	須田浩介	3単位 69時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本来は捨てられてしまう物を柔軟な発想でアート作品や展示物の素材として活かし創作すること、完成した作品や成果物を創形祭を通し学内外の様々な人に鑑賞してもらう事を目標とする。</p>			
【講義概要】			
<p>この授業では運輸業界で発生する廃棄物、特に段ボールやETCカード等を利用しアート制作に取り組みます。社会連携活動の一環として首都圏物流組合にご協力いただき、これらの廃棄される物が持つ創作物への潜在的な価値を引き出し廃棄物をアート作品として生まれ変わらせます。学生は廃棄物が単なる「捨てられるもの」ではなく創造的な素材であることに気づきアートと環境意識を結びつける新しい視点を得ることができます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／課題説明	18	制作
2	素材収集	19	最終チェック
3	素材収集	20	ブラッシュアップ
4	コンセプト及びラフ案発表	21	プレゼン
5	制作	22	講評会
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作チェック		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作チェック		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザイナーに派遣。2008年~2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	シルクスクリーン基礎(VD科)	東樋口徹	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わされて改良されたものです。枠に張った紗の目を不必要な部分は塞ぎ、画の孔(穴)の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品(A4/21cm×29.7cm)を一点(紙8枚程度)制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	技法説明(製版)		
3	描画制作		
4	技法説明(刷り)		
5	版指導・印刷実演・版制作		
6	版制作		
7	版制作・改版指導		
8	試し刷り		
9	試し刷り		
10	試し刷り		
11	本刷り指導		
12	本刷り		
13	本刷り		
14	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p><u>1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞(三極)、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。(社)日本版画協会会員。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	1年・前期／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルデザイン基礎(VD科)	奥定泰之	2単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この講座では、3つの課題に段階的に取り組むことで、ブック(本)の構造を深く考え、エディトリアルデザインの基礎の習得を目指します。			
【講義概要】			
エディトリアルデザインとは、ブック(本や雑誌など)をデザインする(仕組みを考える)ことです。この講座では、平面のグラフィック(ポスターやチラシ)とは違うブックの構造を考え、実際にデザインすることで、エディトリアルデザインの考え方の基礎を段階的に学んでいきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	InDesignとは何か	17	制作
2	作品制作のミーティング	18	仕上げ・講評
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	書籍のデザイン(文字組)		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	雑誌のデザイン(レイアウト)		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	作品制作のミーティング		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクサダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。共著に『感性と社会』(論創社)、『近代デザイン史』(武蔵野美術大学出版局)。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デジタルイラストレーション基礎(VD科)	花島百合	2単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パソコンやタブレットなどのデジタルツールを使って、作品を制作しながらデジタルイラストの技術や長所を学びます。			
【講義概要】			
イラストレーター、フォトショップを使ったイラストレーションの制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作指導
2	ラフ制作	18	講評会
3	ラフチェック		
4	制作指導		
5	講評会		
6	課題説明、ラフ制作		
7	ラフ制作		
8	ラフチェック		
9	制作指導		
10	講評会		
11	課題説明、ラフ制作		
12	ラフ制作		
13	ラフチェック		
14	制作指導		
15	制作指導		
16	制作指導		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
創形美術学校卒業後よりイラストレーターとして活動。ザ・チョイス入選。CWCチャンス展セミファイナリスト入選。広告、商品、出版物、キャラクターイラスト、アニメーション等のイラストレーション制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	映像ワークショップ(VD科)	三田村光土里	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。</p>			
【講義概要】			
<p>フォト・ストーリーをつくろう</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、自分の好きな風景や被写体を見つけて学校周辺で写真を撮る。		
2	自分の写真集を作るつもりで、自由に撮る		
3	画像をセレクトし、テーマを決めて、タイトルをつける。		
4	グループに分かれてミーティング		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	最終チェック		
10	発表・講評		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>現代美術家。1964年生まれ。写真を使った空間作品を国内外で発表。2006年ウィーン分離派館にて個展。2003年東京都写真美術館『日本の新進作家展vol.2』。2016年あいちトリエンナーレ他。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	コミック基礎B(VD科)	石山さやか	1.5単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>まずは漫画というものに触れ、親しんでみます。自分が今まで見てきた以外にも様々な表現方法の漫画が存在すること、言いたいことや見せたいものによって構成も描き方も変わってくることを、実際に手を動かすことで学びます。</p>			
【講義概要】			
<p>『漫画』とはそもそも何か、実際の漫画作品やその表現の多様性を眺めつつ、自分でも短い漫画作品を作ってみます。現代の漫画作品の発信方法やデビューまでの道筋、また制作の基本的な工程についても学びます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・プレスト	17	制作指導
2	制作指導	18	講評会
3	進捗チェック(ネーム)		
4	制作指導		
5	進捗チェック(ネーム直し・下書き)		
6	制作指導		
7	制作指導		
8	制作指導		
9	制作指導		
10	制作指導		
11	制作指導		
12	制作指導		
13	制作指導		
14	進捗チェック(作画)		
15	制作指導		
16	制作指導		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンディア』(祥伝社)発売。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グッズデザイン制作(VD科)	山田淳史	1.5単位 57時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ロゴ(ビジュアル)制作をし、グッズに展開するまでを体験してもらいます。各グッズの特性を理解し、色数などを考慮しながらロゴ(ビジュアル)の展開を学んでいただきます。</p>			
【講義概要】			
<p>クライアントが参加する年末年始カウントダウンフェス用のグッズデザインを制作して頂きます。対象となるクライアントを各自設定し、フェス用グッズとして売れるデザインを考えてください。制作物は、うちわ/フォトホルダー/缶バッジ(モックアップ制作)、Tシャツ/タオル(紙ベースでの提出可)の計5アイテムと、A4サイズ商品カタログとなります。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション / 自己紹介	17	最終チェック
2	課題説明	18	プレゼン準備
3	デザイン企画編集	19	プレゼンテーション/講評会
4	ラフ案制作		
5	ラフ案制作		
6	製品デザイン制作		
7	製品デザイン制作		
8	製品デザイン制作		
9	製品デザイン制作チェック		
10	モックアップ制作		
11	モックアップ制作		
12	モックアップ制作		
13	モックアップ制作		
14	モックアップ制作チェック		
15	最終チェック		
16	ブラッシュアップ		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>デザイナー/イラストレーター。邦楽アーティストのツアー、イベント、ライブのアートワーク、キャラクターデザイン、ロゴデザインなど、多岐にわたって活動。合同会社MINATO</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グラフィックデザイン基礎B(VD科)	草谷隆文	1.5単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
アイデアと技術を具現化するためのじつ作業の流れを身につけ、グラフィックデザインの基礎を学びます。			
【講義概要】			
実際にアドバタイジングを製作することによりアイデアの出し方、企画の考え方のトレーニングを学びます。学生同士のディスカッションも行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス、第1課題説明	18	制作のチェックと指導
2	制作	19	制作
3	制作チェック	20	全体講評
4	制作		
5	第2課題説明		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作		
9	第1、2課題確認、第3課題説明		
10	オプション課題説明		
11	制作		
12	制作のチェックと指導		
13	制作		
14	制作のチェックと指導		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1963年静岡県生まれ。1985年玉川大学文学部教育学科教育哲学専攻卒業。1989年廣村デザイン事務所入社。1996年有限会社草谷デザイン事務所設立。[入選/受賞歴]1994年準朝日広告賞。1995年JAGDA新人賞。2001年グッドデザイン賞部門賞。2008年準朝日広告賞。2009年朝日広告賞グランプリ。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部(3年制)	2025年度	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	キャラクターデザイン基礎B(VD科)	飯田友和	2単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>キャラクター制作において、テーマに沿った内容であることのみならず、自己の発想や創意工夫を盛り込み、コンセプトがしっかりしているデザインを上げ、完成させます。</p>			
【講義概要】			
<p>実利用を想定したキャラクターを制作します。 デザイン案、ラフ・下書き、クリンナップと、仕事と同様の手順、段階を踏んで成果物を仕上げます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション & 第1課題 説明	17	第4課題 講評
2	第1課題 制作	18	クリンナップ
3	第1課題 制作	19	クリンナップ
4	第1課題 講評	20	総合講評会
5	第2課題 説明 & 実習		
6	第2課題 制作		
7	第2課題 制作		
8	第2課題 講評		
9	第3課題 説明 & 実習		
10	第3課題 制作		
11	第3課題 制作		
12	第3課題 制作		
13	第3課題 講評		
14	第4課題 説明 & 実習		
15	第4課題 制作		
16	第4課題 制作		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>埼玉県在住。東京デザイナー学院ビジュアルデザイン科卒。アニメ・ゲーム制作会社の作画を経て、現在フリーランスイラストレーターとして活動中。企業や広告、各種コンテンツのイメージキャラクターやマスコットキャラクターデザイン、様々な用途のイラスト、グラフィックデザイン制作の他、Web広告バナーの制作実績は数百点。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別テーマ制作 (イラストレーション・絵本専攻)	関根秀星 須田浩介	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーターとしての実践経験を想定し成果物に収めるまでの過程を経て制作を行い、テーマに対する捉え方や発想力を深めることで自作品の魅力や個性に繋げていきイラストレーションとしての可能性を探究する。			
【講義概要】			
指定したテーマに基づいて作品を制作。コンセプト発表やラフ案提出などクライアントワークを制作する際に必要なプロセスを経ながら密度のある作品制作を目指す。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	企画立案	19	制作
3	制作	20	講評会
4	制作		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作チェック		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	中間発表		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	制作チェック		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>関根秀星:2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。 千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。</p> <p>須田浩介:イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年~2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別テーマ制作 (グラフィックデザイン専攻)	田中北斗	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ロゴ(ビジュアル)制作をし、各グッズに展開するまでを体験してもらいます。各グッズの特性を理解し、色数などを考慮しながらロゴ(ビジュアル)の展開を学んでいただきます。</p>			
【講義概要】			
<p>クライアントが参加する春フェス用のグッズデザインを制作してもらいます。対象となるクライアントを各自設定し、春フェス用グッズとして売れるデザインを考えてください。制作グッズは、うちわ／ハメばち／ステッカー／缶バッジ(モックアップ制作)、Tシャツ／タオル／トートバッグ(紙ベースでの提出可)の計7アイテムとなります。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	企画立案	19	制作
3	制作	20	講評会
4	制作		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作チェック		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	中間発表		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	制作チェック		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部(3年制)	2025年度	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	専攻別テーマ制作 (メディアデザイン専攻)	岡山拓史	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>短期間での企画出し、撮影、編集、スケジュール管理など映像制作の一連の流れを体験。制作した動画は各種メディアで配信。</p>			
【講義概要】			
<p>映像制作の現場で必要となる知識や技術などの基礎を学び、昨今のメディアやデバイスの特性を理解しながら1本の映像を制作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	編集
2	企画立案	19	編集
3	ラフ案提出	20	講評会
4	絵コンテ制作		
5	絵コンテ制作		
6	撮影		
7	撮影		
8	撮影		
9	映像チェック		
10	プレゼンテーション		
11	編集		
12	編集		
13	編集チェック		
14	編集		
15	編集チェック		
16	編集		
17	編集		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。</p>			